



令和4年度 展覧会  
武蔵村山市立第九小学校

鑑賞の手引き

# 作品解説.....

	題材名	解説
1年	ようこそ！ 九小パーラーへ	自分の好きなものがいっぱい入った自分だけのオリジナルパフェを作りました。色とりどりのフルーツや甘い甘いアイスクリーム！！ゼリーやお菓子も入っています。グラスの形やコースター、スプーンも自分たちで作りました。見ているだけで楽しくなる作品です。ぜひお気に入りのパフェを見つけてみてください。
	宇宙旅行へGO！！	宇宙ってどんな所だろう？まだ誰も行ったことのない宇宙を想像して絵を描きました。宇宙に輝く星を表現するために、スパッタリングに挑戦！鮮やかな蛍光塗料と絵具で、綺麗な星空ができました。星の他にはどんな物が描かれているのか、注目してみてください。「宇宙に行ってみたい！！」という気持ちが強くなる作品です。
	アニマルコレクション 2022	紙粘土で動物のお面を作りました。紙粘土に絵の具を混ぜて、色の着いた粘土を作りました。できた色粘土を容器に貼り付けて完成です。模様や表情も一人一人違っているので、どんな動物がいるのかゆっくり御覧ください。
2年	うつしてみつけて しろちゃん くろちゃん	白い紙の上に、くろちゃんを載せて、上からいろいろな色をつけたローラーを転がしました。くろちゃんをそとはがすと、、、なんとそこにはしろちゃんが！！くろちゃんを貼ると、なにやら、しろちゃんとかくろちゃんのお話が頭に浮かんできました。みんなのしろちゃんとかくろちゃんは何をしているのかな？
	ぺたんぺたんタワー	大きな大きな広場にタワーを建てるならどんな形をしているだろう？ダンボールスタンプのリングを積み上げます。「どんな形だっつつくれるんだ、だって天才けんちくかだもん！」建てるだけでは終わりません。そこにはどんな生き物がいるだろう？タワーの壁はどんな色だろう？自分で決めて自分で建てた自分だけのタワー！
	ガムテープから うまれたよ	絵を描く材料は絵の具だけじゃないよ。「ガムテープで絵をかくよ！」カラフルなガムテープを千切って貼って、千切って貼って・・・思い思いの生き物が生まれました。
	とうめい！ だっこさん	透明な大きなシートをはさみでチョコチョコキ。 ホチキスでパチパチ留めて、材料を詰めたらふっくら。「体がすけてふしぎだね！」「ぎゅっと抱きしめると気持ちが良いね！」私だけのだっこさんをお楽しみください。
	ガラガラ画用紙	この世にはガラがたくさん。「着ている服も、包装紙も、自然の一部も探してみるとガラだ！」よし！自分たちでガラを生み出そう！ローラーを使ったり、筆を自由に動かしたり、思いの向くままガラを作りました。
3年	紙はんがロボット	こんなロボットいたらいいな！

4年

	小学校、初めての版画は、貼り合わせたときのデコボコが面白い紙版画です。自分で考えたロボットを、お気に入りの場所に連れて行きました。
キラキラの世界	キラキラの材料を使ってどんな世界が表現できるかな？キラキラの折り紙やテープ、アルミホイルなどを使って、思い思いのキラキラ光る世界を作りました。
ガムテープ モンスター	新聞紙を再利用。新聞紙をぐしゃぐしゃと丸め、ガムテープでペタペタ、自分のお気に入りのモンスターを作りました。新聞紙はまるで粘土のように自由自在に形を変え、好きな生き物へ姿を変えました。
こすって ぼかして...	初めてのコンテパステル。こすったり、ぼかしたりしながら、コンテパステルの柔らかい感じの色調を活かしながらのびのびと描くことができました。テーマは「抽象」。とても難しいテーマに挑戦しました。
彫ると出てくる 不思議生物	初めての彫刻刀。まずは色々な線を彫りました。「こんな不思議な生き物がいたらいいな。」と想像を広げて、版画で表しました。自分のイメージに合わせて下地の色を2種類作り、黒のインクで不思議な生物を重ねました。どんな生物が生まれたでしょう？
とうめいカラーの 世界	透明の板に、ボンドで線を描いてボンドのかべを作ろう。「鉛筆でかくよりもむずかしいぞ！」集中しながらボンドを扱いました。固まったボンドのかべの中にとろとろ絵の具を流します。「わー！ステンドグラスみたい！」
〇〇なシーサー	沖縄の「シーサー」は獅子のことで、家を守ってくれる存在として、家の門や屋根に飾られています。約2キログラム分の粘土を叩いたり、伸ばしたり、丸めたりしながら、一人一人が願いを込めたシーサーを作りました。それぞれのシーサーの形や色、雰囲気の違いをお楽しみください。

5年

感情の顔	ピカソ作「泣く女」を鑑賞することから始まりました。「なんだか悲しそう、嫌なことでもあったのかな？」「顔の中に色が沢山あって不思議、色にも意味がありそう。」など、沢山の意見が出ました。クレヨンを手にした5年生は、自分が選んだ感情をたたきつけるようにして画用紙に向かいました。クレヨンを力強く塗り、削り、ひっかき...感情に合う色や形を選び表現しました。
デコボコアート	絵は四角とは限らない。いつも描いている四角の作品とは違う、デコボコの作品に挑戦しました。段ボールを色々な形に切って、組み合わせて思い思いの色をつけました。
ワイヤーアート	「針金って曲げたり、ねじったりすると色々な形になってなんだか面白いな。」針金の面白さを沢山発見することが出来ました。針金の特徴を活かした自分だけの針金(ワイヤー)アートの出来上がり！台座は幾何学模様挑戦しました。
○家庭科作品 5年生 「ナップザック」	5年生になり初めて学んだ手縫いを生かして、ナップザックを作りました。頑丈に縫うための本返し縫いに苦戦しましたが、最後まで諦めずにやり抜き完成させました。
ぐるっと万華鏡	一枚の版木で刷った同じ絵を、4枚ぐるっと回転させてつなげた

	<p>作品です。面白く、楽しく、美しくつながるデザインを考えて作りました。世界に一つしかない版画の万華鏡をお楽しみください。</p>
<p>ここに えがく木</p>	<p>木炭を力いっぱい紙にこすりつけ、紙を真っ黒にすることから始まりました。その後、消しゴム、手、木炭を使って今回のテーマである、自分の心の中にある木を描きました。</p> <p>「あなたは暗闇の中にいます。目の前に現れた木はどんな形をしている？自分にとってどんな存在？」という投げかけから描き始めました。最初からイメージが決まる子、少しずつ木の形が現れてできていく子、何度も描いては消し自分の木を見付ける子、最後はどの形で完成とするか、6年生として自分の表現をどれだけ深めていけるかが問われる題材でした。描き終えた後、自分の絵を見ながら感じたことや考えたことをもとにして、自分で詩を書きました。絵と詩、併せてご鑑賞ください。作品の世界をじっくり味わってください。</p>
<p>水の形</p>	<p>水を鑑賞することから始まりました。水は、色々は顔を見せてくれます。流れる水、はじける水、とどまる水... 色々な形に変形し私たちと共に生きています。その様な水の形を表現しようと試行錯誤し、形を自分なりに作りあげていきました。一度素焼きをし、その後ガラスのカケラを水に見立てて置いていきました。約2日間、焼き窯で焼き、ガラスが溶けて混ざり合い、完成しました。</p>
<p>○家庭科作品 6年生「クッション」</p>	<p>世界で一つだけのオリジナルクッションを作りました。名前を刺繍したりフェルトで装飾を付けたりと、どれもそれぞれの個性がよく出た作品に仕上がりました。</p>
<p>○図エクラブ作品 ①「九小の四季」</p>	<p>アクリル絵の具を用いて、1枚の絵の中で、九小の校舎と四季を表そうと図エクラブの6年2組の児童が描いた作品です。</p>
<p>②「海の中」</p>	<p>アクリル絵の具を用いて、海の中にはどんな生き物が居るかを図エクラブの6年1組の児童同士が相談し、考えながら描いた作品です。</p>
<p>③「九小の富嶽三十六景（神奈川冲浪裏）」</p>	<p>葛飾北斎の富嶽三十六系（神奈川冲浪裏）を2022年に生きる子供たちが書いたらどうなる？という問いから、図エクラブの5年生が新たに色つけした作品です。</p>
<p>④「原宿に舞い降りた三世大谷鬼次の奴江戸兵衛」</p>	<p>東洲写楽の有名な浮世絵を新たに色つけした作品です。着物の柄を原宿っぽい絵柄にしよう！と図エクラブの4年生が考え表しました。</p>